

生徒指導の目標と基本方針

目 標

- ① 基本的生活習慣を確立する
- ② 意欲的に学習できるようにする
- ③ 規律を守るように習慣づける
- ④ 差別やいじめのない学校を目指す
- ⑤ 責任ある行動がとれる自主的な集団を目指す

基本方針

- ① 現状としては、挨拶をする・時間を守る・正しい言葉使いをする・静かに話を聞く・物を大切にする・服装などの基本的生活習慣ができていない生徒がいる。朝礼・学年集会・授業・清掃活動・行事などを通じて、また日常の生徒との関わりにおいて基本的生活習慣を確立させるように指導する。
- ② 学校生活の基本は、授業である。生徒が、意欲的に学習できるような環境・授業内容などの向上に努める。
- ③ 社会の一員として、また集団の中で行動する生徒として、社会規範や校則を自主的に守り、楽しい学校生活が送れるように指導する。
- ④ いじめ・暴力・不登校などの課題に対しては、人権教育を基本に全教師協力のもと、ねばり強く指導する。
- ⑤ 集団の一員としての自覚を持ち、行事などに積極的に参加し、相手の立場や気持ちを考え、自ら考え行動できる集団に育てる。

以上、生徒指導は、規律の維持・問題行動の対策・予防・処理という面と、生徒の人格発達・好ましい人間関係の育成・学力保障などの両面的な指導が大切である。

又、個々の生徒に対する指導については、学級担任が担う場面が多いが、担任だけで問題を抱えるのではなく、学年や全校生徒を学年教職員や本校全教職員が対応指導するという姿勢をくずさず、学年及び学校全体で協力できる指導体制で臨む。そのために、学年会議で授業の様子・クラスの様子を報告し、話し合い、職員会議で各学年の実態や指導経過を報告する。

そして、集会・総合学習・行事・委員会活動・クラブ活動などを通じて生徒の持つ興味や関心を充足し、常に生徒の活動の場を広げるようにする。又、当番・清掃活動・集団活動を通じて集団に対する所属感や連帯感を育てていく。